

科目責任者 越前 宏俊 (薬物治療学教室)

**■ 教育目的**

人文系基礎科目を再度学習することにより、日本語文章表現、語学などの基礎学力を向上させる。専門系科目に対しては、学習到達度の不十分な分野の復讐、SGDを通じた問題解決能力の養成を図る。

本科目は5年次の12月から3月のみ集中講義の形式で行う。

**■ 学習到達目標**

人文系基礎科目では、レポート作成を通じて正しい日本語の習得、論理的な文章表現、大学生として標準的な英語能力の育成を目指す。専門系科目に対しては、各コース担当教員による該当コースの教育の基礎となる問題についてSGDで学習し、自己学習能力を身につける。

**■ 準備学習（予習・復習）**

予習：事前に提示された科目内容の予備学習

復習：該当日の学習内容の確認と理解不足部分の補正により知識を確実なものとする。

**■ 授業内容**

学外特別コース実習相当単位（10単位）のうち、配属研究室でのゼミ2単位を除く、8単位に相当する講義と演習時間が設定される。12月から3月までの午前中2コマが基本的な授業時間である。

前半部分4単位は学内の7つの特別コース教員が分担する。後半4単位は外部講師が担当しリベラルアーツ、医療関連の講義を行う。

**■ 授業分担者**

越前宏俊、7つの特別コース担当教員、外部講師

**■ 成績評価方法**

出席（80%以上）とレポートまたは試験。

**■ 教科書**

授業内容に応じて担当教員が指定することがある。

**■ 参考書**

事前に指定されたものはない。

**■ その他**

外部実習では健康上の理由や慶弔事などのように特別な理由がない場合には欠席を認められていないことに鑑みて、本コースでは出席80%以上を単位取得要件としているので注意すること。